

## 令和2年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	5	学校名	静岡聴覚特別支援学校	記載者	教頭 松本 比呂美
------	---	-----	------------	-----	-----------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	<b>学校安全、健康管理、危機管理の体制整備と様々な災害に備える防災教育</b>	○防災防犯対応力が向上した教員 AB100% ○学校は実態に合った防災教育を行っている と答えた保護者 AB90% ○約束を守って避難できた幼児児童生徒 AB90% ○体罰ゼロと答えた保護者、児童生徒 AB100 % ○情報共有したことで事故を未然に防ぐことができた教員 AB100 %	B	B	・子どもたちが悩みを抱えた時、相談しやすい環境を整備しておくべき。
イ	<b>他者を尊重し、思いやりの気持ちを大切にすることができる子どもの育成</b>	○他者を尊重し、思いやりの心を育てることができた教員 AB90% ○友達の良さを認め、誰とでも仲良くすることができた と答える保護者、幼児児童生徒 AB90% ○人権意識が向上したと答える教員 AB90%	B	B	・特になし
ウ	<b>健康な生活を教職員も実践（業務改善）</b>	○時間外勤務が月45時間以内の教職員 AB90% ○時間外勤務が月80時間以上の教職員ゼロ ○設定された退庁時刻を教職員全員が守る ○ワークライフバ	B	B	・昨年度に比べ時間外勤務時間は減ったのか。 ・持ち帰り仕事はしていないか。

様式第5号

		<p>ランスが整った教員 AB80%</p> <p>○相談しやすい職場と回答する教員 AB90%</p> <p>○衛生面で職場環境が良いと答える教員 AB90%</p>			
エ	<p><b>ICT を活用した効果的な学びの実践</b></p>	<p>○ICT 活用は学びを深めるために有効であると回答する教員 AB80%</p> <p>○補聴援助システムや音声認識システムなどを活用できた教員 AB100 %</p> <p>○学校は ICT 教育を取り入れていると思う保護者 AB80%</p> <p>○ICT を活用したことにより授業がわかるようになった児童生徒 AB80%</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休校期間中、家庭とつながることができてよかった。</li> <li>・教員の準備はたいへんだと思うが、ICT を活用すると分かりやすいと思う。今後も積極的に取り入れてほしい。</li> <li>・データは来年度も活用できる。</li> <li>・リモートもよいが、人と人とが直接かかわることも大切である。</li> <li>・画面越しだとコミュニケーションがとりにくい。対話が一方になってしまう。</li> </ul>
オ	<p>子どもの学びを支える教職員の専門性の向上 <b>(障害特性を踏まえた教科指導の充実)</b></p>	<p>○個の実態に応じ、聴覚障害の特性に配慮した授業ができる教員 AB90 %</p> <p>○スキルちゃんを意識して幼児児童生徒に関わることができた教員 AB90%</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
カ	<p>子どもが主体的に学び合い、「授業が楽しい」「授業がわかる」といえる授業づくり</p>	<p>○幼児児童生徒が主体的に学びに向かう授業づくりができた教員 AB90%</p> <p>○授業が楽しい、授業がわかると答える幼児児童生徒 AB100%</p> <p>○学校の授業はわかりやすいと思う保護者 AB90%</p> <p>○学部研修や一授業を通して授業改善できた教員 AB90%</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回授業参観した時より授業が充実していた。活気があり、良かった。</li> <li>・英語でのヒヤリングについて ALT を有効に活かしていくべき。</li> </ul>

様式第5号

キ	発達段階に応じた生活言語の獲得と定着（乳幼児教室）（幼稚部）	<p>○乳幼児の発達に関する保護者学習会を年間3回実施する。</p> <p>○保護者学習会を年間9回、おしゃべり会を年間11回実施する。</p> <p>○学習会に満足した保護者 AB100%</p>	A	A	・特になし
ク	発達段階に応じた <b>日本語の向上</b> 及び手話力の向上（小学部）（中学部）	<p>○読み聞かせや読書の時間を週1回以上実施する。</p> <p>○日記や感想文の指導を通して子どもたちの日本語力が向上したと答える教員 AB80%</p> <p>○自分の手話力が向上した教員 AB80%</p>	B	B	・特になし
ケ	地域から信頼される学校づくり	<p>○学校は学校周辺地域とつながりがあると答えた保護者 AB100%</p> <p>○中部地区保健センター巡回参加者の満足度 AB100%</p> <p>○監査における指示注意0件</p> <p>○学校経営予算の計画的な執行12月末執行率60%</p>	B	B	<p>・今年度に関しては感染拡大防止の観点から地域とのつながりがほとんどなかったが、今後もつながってほしい。</p> <p>・子どもたちが明るく、雰囲気が良い。</p>
コ	地域資源を活用した効果的な学習活動の実践	<p>○地域資源を活用できた教員 AB90%</p> <p>○各学部で地域とつながりをもつ。</p>	C	C	・今年度に関しては仕方なかった。できることをやっていく。
サ	<b>交流籍に基づく、双方に効果的な交流及び共同学習</b>	<p>○交流籍による交流の良さを実感できたと答えた児童生徒、保護者、交流相手校 AB90%</p> <p>○交流校（大きな集団）で聞こえへの配慮を依頼できた児童生徒 AB80%</p>	B	B	・進路指導についてしっかりと行われているかを見直す必要がある。適切な就学支援体制の整備。

様式第5号

シ	<b>在籍校と連携した通級 指導教室の運営</b>	○在籍校訪問の実 施率 90% ○在籍校への支援 を行い、理解、連 携が深まったと答 える地域支援部教 員 AB90%	A	A	・特になし
---	-------------------------------	---	---	---	-------